



脳の下も乳首も・ひええ...

ツルであんなにくすぐられたら
誰だって勃起しちゃうよ...



無数のくびれが入った触手...と擦れる快感が、
付いていく。ニユルリ...ニユルリ...と擦れる快感が、
容赦なく襲いかかる。
ジュルル...亀頭の溝にきっちり食い込みながら
締め付けを強めると少年はふるつと体を震わせた。




ミュルドの洞窟




ラトリアより遙か西、クリード王国。

ここでも魔王軍より解き放たれた魔物に対抗すべく選び出された少年勇者たちが人間側の主な戦力として魔物たちと日々戦いを繰り広げていた。

カラナの街から西へ向かい暗闇の森を抜けたところにある洞窟。

The image shows a cave entrance in a rocky, hilly landscape. The cave opening is a dark, irregular shape in the center, with a path leading into it. The surrounding rocks are light-colored and textured. The overall scene is dimly lit, with a yellowish-green tint. In the foreground, there are some small green plants and a patch of brown earth.

岩肌に開いた入口。洞窟内から吹いてくる風に混じってかすかに人の声が聞こえる。



ミュルドの洞窟。

ここに囚われているクリード王国の少年勇者の数は三十人前後。

搾精種の魔物は人の精液を奪い自らの魔力を高める事が出来る。
きつとこの中に連れ去った勇者たちを搾精しているに違いない。

王国の戦力の為にも一人でも多く助け出さなければ。

中へ入り足を進めると地面が緩やかに傾斜しているのがわかった。
徐々に地下に向かっているんだ。




ナオキ
LV24



リュウト
LV23



僕はナオキ。
補助系魔法が得意で回復や透視も使える魔法使い。
隣は親友のリュウト。一瞬で数匹のスライムを細切れに出来る程の
技を使える剣士。



でも奥の方には上級の魔物もいるらしいから姿を消す術を
かけてもらって来た。
敵に気付かれないように行動してこの龍神の玉で救い出すんだ。

「龍神の玉」……龍神のほとぼしる生命力が
込められている玉。
HP・MPが回復し短時間の間だけ魔物を素手で
倒せる程の怪力を得られる。

これが成功すればたくさんの戦力を取り戻す事ができる。

「龍神の玉」……龍神のほとぼしる生命力が
込められている玉。
HP・MPが回復し短時間の間だけ魔物を素手で
倒せる程の怪力を得られる。

リュウト
LV23


ナオキ
LV24

オレたちお互いは姿が見えてるのに
周りからは全然見えてないんだよな。

ここに来るまでも雑魚に出会わなかったし。


魔物にも人にも見えてないはずだよ。
でも音で気付かれるかもしれないから
足音には注意しよう。





薄暗い洞窟部屋の入り口から灯りが漏れている。
中には人と魔物の気配。

そして「はあはあ」という息使いも。

A large, glowing purple crystal or gemstone is the central focus, set within a dark, cavernous environment. The crystal has a faceted, elongated shape and emits a bright, ethereal light. The surrounding walls and ceiling are dark and textured, suggesting a cave or a hidden chamber. The overall atmosphere is mysterious and magical.

僕とリュウトは忍び足で部屋の中へ入った。

岩壁を掘って造られた空間の奥にブヨブヨとした魔物が壁にへばりつき
その中央に僕たちと同じくらいの年頃の少年が捕らわれていた。

手に握られた剣は絡め取られ、全身を無数の触手に縛られている。
服は剥ぎ取られてしまったのか、膝の防具だけが残されている。
全裸で無毛の性器をさらけ出された姿からは想像し難いがこの少年は
間違いなく勇者だ。



うわ…フルチンにされてる…
ひでえ…オレの剣で斬って助けない？

駄目だよ。今あの子を助けても一緒に行動できないし、
裸じや魔物と戦いながら1人で帰れないよ。
作戦通り僕が魔法で…

ちよつと待って、何か動き始めた！

はあ…はあ…
くちゅくちゅ





穴の中から無数の触手が現れて
少年の体をヌルヌルとくすぐり始めた。

ヌヌ...

ヌヌ...



暴れて逃れようとする少年。しかし手足に巻き付いた触手が四方に引き伸ばして抵抗を阻止する。スキだらけの脇や腹を無数の触手が容赦なく撫で回していく。ローパーの一種であるこの魔法生物はこうして獲物を疲れさせて搾精する。

無数のくびれが入った触手が少年のペニスに絡み付いていく。ニユルリ…ニユルリ…と擦れる快感が容赦なく襲いかかる。
ジュルルル…龟头の溝にきっちり食い込みながら締め付けを強めると少年はぶるっと体を震わせた。



あつ 無表情になつてる…
あの顔はもうイキそうなのかも。

ほんとだ。まだ5分も経たないのに…。
あの赤い触手にちんちんを巻かれるとそんなに
気持ちいいのかな…？

イク…
イク…



無抵抗の少年は擦れる快感に耐え切れず
いつてしまった。
快感の余韻に浸る間もなくローパーの触手は更に
少年のペニスを刺激し続ける。





グローブを溶かされて粘液に触れるとこの子みたいに快樂の虜になってしまう！

リュウト、手を離せ！

びちゃっ
びちゃっ



リュウトは慌てて手を離した!

くわわわ

かっ

びん

びん

びん

びん

びん!

びん

触手は更に顔に巻き付き口にも入り込み体中に媚薬粘液を塗り込みながら脇や乳首・背中・肛門の中までも刺激し始めた。



再び固くなった性器にニユルニユルと触手が
巻き付いて擦り上げる。
興奮が最高潮に達して絶頂を繰り返してしまおう。

手足の筋肉は疲労しきって力が入らずガクガクと
震えるだけだった。
少年は声を出せずに鼻息を荒くして射精の快楽に
身を委ねていた。

うん
うん

ムジ...ムジ...ちんごが何回も射精してる...
搾精種に負けた勇者はあんな事になるのか...


ローパーはまだ低級の魔物だけど絡みつかれたら危険だ。
それじゃ...作戦通り魔法印をこの子に施して先を急ぐ...。





ナオキは呪文を唱え少年の体に魔法印を浮かせ上がらせた！

龍神の玉で救えるのは二人だけ。でも呪文印を施しておけば一度の使用で複数の人に力を与える事ができる。
僕たちはこの場を後にした。


A green alien-like character with spiky hair and a human boy are in a cave. The alien is on the left, looking towards the boy on the right. The boy is wearing a blue and orange striped tunic and a blue cap. The cave walls are purple and brown, with some glowing spots. The scene is lit with a warm, orange glow.

壁の向こうに気配を感じ、注意深く岩肌を探ってみると
カモフラージュされた壁の中に魔物がいるのが見えた。
中から話し声が聞こえる。

僕たちはそろりと近づき中の様子を覗き見した。

ツキ
ツキ






クモの様な足が生えた魔物が少年勇者を糸で捕まえている。
奥の方にも糸で巻かれてマユにされたらしい人が見える

周りの壁は洞窟の岩肌とは違って異質な膨らみを帯びて突起から
糸を吹き出している。魔物の巣だ。

おいナオキ、あの魔物はインキュバス
じゃないか……？
あいつ、タダじゃ済まないぞ……。

うん。足が多いけど本で見たのと似てる。
インキュバスを直接見るのは初めてだ。





インキュバスは魔力が高くて俊敏な上級の魔物だ。
以前、一匹のインキュバスを相手に勇者が8人がかりで
ようやく倒したという話を聞いた事がある。

しかもドSな性格をしていて人間の男を捕まえては徹底的に
快楽を与えて搾精し、悶える姿を見て楽しむとか。

ほんと…オレを殺さないの？
あまり知らないけどそれだけで許してくれるんだ…？

うん。チンゴが気持ちいい事だよ。
自分でもするんでしょ？
勃起してるって事は、よく知ってるって事だよねえ？

がく

がく
がく

えっでも…オレ、あんまりしないよ。
あまりやるのは体に良くないって本に書いてたし。

逆だよ。体に溜め込むと良くないんだよ？
それに好物なんだあ精液♪
君みたいな若い勇者の精液は特に魔力が上がるんだ♪

がく

がく

がく



ちよつ 糸が：ちよつと待つてつ尻の中に糸が入って来てる！
うわ、ちんちんの皮の裏側にもおおあああつ

うめっ

しゅわ

しゅわ

しゅわ

もぞ

しゅわ

しゅわ

糸はオレの思い通りに操作できるから
心配しなくてもいいよ。

裏スジから回り込んで。ほおらら♪

初めてなの？くすぐりたい……？

糸で包茎チンコの皮を剥いてあげるね。

あつあつあつ！だめ、それ以上しなうでえええ

たすけてっ

がんばれ〜♪

ゆつくり剥いてるから大丈夫。
ちやんと清潔にしないと
垢が貯まるんだよお？

むきむき

めさめさ

めさ



うあああああ……剥けたアアちんちん触らない
でええつーちよばいいよおおおつ

ちめっつ

やっ

しゅん

しゅん

しゅん

しゅん

すり

すり

すり

しゅん

しゅん

へへへ、剥けたての綺麗な色。
臭いから掃除しようね。
それから向こうに吊るされてる
勇者みたいにマユにしてあげる。

あいつは
二年前に
つまえたんだよ





ちんちんがつぞわぞわするっあぁ...
気持ちいいら...

ツンツン...

ツンツン

ツンツン

ツンツン

ツンツン

ツンツン

ツンツン

ツンツン

ツンツン

ツンツン

ツンツン

ツンツン

ツンツン

ツンツン

インキュバスの糸が少年の体を覆っていく。
細い糸が肉棒と睾丸を巻き上げ肛門の中と
ペニスの先端から尿道に侵入していく。

前立腺の中で糸が自由に動き回り
少年はあっという間に射精してしまった。

〜ひらひら〜……!

うっ

あ、もう出た…w
糸が動いてるから勝手に気持ちよくなっちゃうね。



ナオキ、早くしないと助けられなくなるぞ？

分かってる、もうすぐなんだ。魔法印をあの子の尻に。。。



ナオキの魔法印が少年の体に浮き上がった！

よし。間に合った！気付かれてないし。
これでマユにされてしまっても後で助けられる。

ラモおお

もこお

ほらほら

また
イっちゃう

ホオオ



インキュバスの糸が少年のペニスと前立腺の中、肛門の中、体中を刺激して失神しそうな程の快感を与え続ける。この糸の先端から出る分泌物で体内の排泄物は分解されて植物のように養分として吸収する。

ちよつとキツイ？全然動けないでしょ？
その糸は刃でも切れない頑丈さもあるんだ。
それに二本一本がうねるから手で撫で回されてるみたいに
気持ちいいよね？





はい、出来上がり。
君もこれから他のマユの仲間入りだよ。
糸に体中を犯されていき続けるだけの毎日の始まり。

あーあー

うお

んんん

ズワ

ズワ

ビクッ

ズワ

ズワ



頑丈な糸だって…。

龍神の玉を使っても抜け出せならんじやなか？
もしかしたらあのままずっと…。(ドキドキ)
(ドキドキ)

わ、わからないよ。とにかく今は先を急ぐ。

(永遠に搾精され続けるなんて…。ドキドキ)

フキ…おっ

んおあ

ど…う…

んんん♡

んんん♡

んんん♡



うもあ
お

んああ
あ
あ

いあ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

マユにされた少年のくぐもった声が聞こえる。
ナオキとリュウトは自分たちと同じ年頃の少年が犯され射精
し続けている姿に興奮してしまった。二人は深呼吸をしてから
さらに洞窟の奥へと向かった。